

【高等学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀県立有田工業高等学校 定時制課程
-----	--------------------

1 前年度 評価結果の概要	学力の向上については、学習に関するアンケートを実施し生徒の実態把握を行った。職員相互の授業参観で職員の授業力向上を図るとともに、オンライン授業の実施等、コロナ禍における生徒の学習の機会の確保などを行った。心の教育については、学校生活アンケートで生徒様子の変化の早期発見と対応に努め、毎週の生徒連絡会で生徒情報の共有を行い、組織的に生徒支援に努めることができた。必要に応じて、スクールカウンセラーの活用も行った。また、いじめに関しては、担任や生徒指導部で協力して面談を行うなど、早期発見、早期対応を行った。健康・体力づくりについては、毎日の「生活チェック表」と「心のチェック表」の記入で、生徒の小さな変化に気づき対応することができた。業務改革・教職員の働き方改革については、会議資料の事前配布と会議時間の短縮に努めた。各部署の業務についても職員間の報告・連絡・相談で連携し、業務改善につながるよう努力した。オンラインによる授業や集会については、効果的な活用法について、今後研修機会を増やしていかなければならない。
------------------	---

2 学校教育目標	勉情 「愛し」「創り」「光れ」を礎とした自立型人間の育成
----------	------------------------------

3 本年度の重点目標	① 出席率の向上と教育活動の改善 ② あいさつ、服装、マナー指導の徹底と思いやりの心の醸成 ③ 進路保障に繋ぐ学力向上、資格取得、部活動 ④ 生徒、職員の心身の健康増進
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上						
	○出席率の向上。 ○基礎学力の向上と学習意欲の喚起。	○出席率90%以上を目指す。 ○「学習に関するアンケート」で、生徒自身に関わる項目の回答の平均値「3.0」を目指す。	・欠席が多い生徒の保護者等と密に連絡を取り、授業の正確な欠席状況や課題の進行状況等を保護者へ伝える。 ・職員相互の授業見学と公開授業の実施 ・「学習に関するアンケート」を実施し、生徒の自覚を促すとともに、指導法の改善と学力の定着を図る。							教務 学年
	○基礎学力向上を目指すことにより、進路実現へ繋いでいく。	◎就職率・進学率を100%にする。	・就業率を上げるための進路指導を行う中で過去問題やSPI対策の充実を図る。 ・基礎学力向上のため、国・数・英での小テストを行っていく。							進路
●心の教育										
	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を育てる教育活動。	○学校評価生徒アンケートの「心の教育」の項目の平均値「B判定」以上を目指す。	・地域社会や学校生活との関連性を踏まえた内容で、特別活動の年間計画を策定する。 ・講話や講演会後の感想文の記入を実施する。							教務 学年
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実。	○学校評価・保護者等アンケートにおいて、いじめに関する学校の取り組みの項目がB判定以上を目指す。	・生徒、保護者等に向け年3回のアンケートを実施する。 ・日頃から生徒の状況を職員全体で共有し、生徒の変化があった場合には速やかに面談・情報共有・保護者等に連絡を行う。 ・月1回「心のチェック」を実施し、気になる生徒への早期対応を確実に行う。							生徒指導 保健
●健康・体づくり										
	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える生徒80%以上を目指す。 ○「健康・体づくり」には規則正しい生活習慣が必要であることを理解できる生徒80%以上を目指す。	・毎日の「生活チェック表」を記入することで、生徒自身が生活習慣を見直し、改善を心掛けるような意識付けをする。 ・喫食率が低い生徒への声掛けを積極的にを行い、給食室への入室を呼びかける。 ・生徒と保護者等を対象に、健康意識を調査するアンケートを実施し、食と健康に関する生徒の意識を把握するよう努める。							保健
	○生徒会活動と部活動を通じ社会性を身に付けさせる。	○「部活動を通じて他学年と交流し、社会性が身に付いた」と考える生徒80%以上を目指す。	・各部活動において礼儀作法指導や他者と協力して成果を得る活動を行う。 ・協調性や達成感を得る主体的な生徒会活動を実践する。							生徒会
●業務改善・教職員の働き方改革の推進										
	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減。	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・週1回の定時退勤日を設定する。 ・会議資料の事前配布により会議時間の短縮を図る。 ・職員間の意思疎通と報告・連絡・相談を徹底し、業務分担と互いに助け合う環境作りに努める。							管理職
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○地域産業との連携						
	★聴講生制度の取り組みで、セラミック科・デザイン科の特色を地域へ発信する。	○講座終了後にアンケートを取り、聴講生個々の掲げた目標(技術向上)に対する達成度70%を目指す。	・週3日の講座を開講し、セラミック科はろくろ成形の技術習得、デザイン科は生徒の授業の聴講による知識・技能の習得で、地域産業の技術者の育成に貢献する。							セラミック科 デザイン科

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり